

| | | 頁 |
|---------|--|----|
| 第107号議案 | 法人の県民税の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 14 |
| 第108号議案 | 知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 15 |
| 第109号議案 | 埼玉県立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例 | 16 |

第百七号議案

法人の県民税の特例に関する条例の一部を改正する条例

法人の県民税 \mathcal{O} 特例に関する条例(昭和五十年埼玉県条例第七十三号)の一部を

次のように改正する。

第二条中「令和八年一月三十一日」を「令和十三年一月三十一日」に改める。

附 則

この条例は、 公布 の 目 から施行する。

令 和 七年 九月二十四 日 提 出

埼 玉 県 知 事

大

野 元

裕

理

提

この案を提出するものである。 法 人の県民税 の法 人税割について、超過税率を課する特例期間を延長したいので、

— 14 —

第 百 八 号議

知 事 知 権 事 限 \mathcal{O} 属 限 に す る 属 す 事 る事 処 理 務 \mathcal{O} 処 理 0 例 特 例 関 に関 す る はする条 条 例 棄 例 成 \mathcal{O} + __ 部 _-年 を 改 埼 Œ 玉 県 す 条例 る条 第 六 +

号) \mathcal{O} 部 を 次 \mathcal{O} よう に 改 正 す る。 る。

削 り、 別 表 28 第 を 九 33 <u>+</u> <u>-</u> と 項事 27 を 務 \mathcal{O} 欄 31 と 中 40 を そ 44 \mathcal{O} と 次 Ļ に 次 30 \mathcal{O} カュ よう 5 39 に ま 加 で え を る。 34 カュ 6 43 ま でと 29 を

32 法 第 百 六十 -条第三項 第百 六十三条第二項、 第二百十三条第三項 及 U 第二百

とし、 別 表第 九十二 21 を削 次 り、 項 ように 事 務 20 を \mathcal{O} 加え 27 欄 とし、 中 る。 26 を 削 1 り、 カュ ら 25 19 にまでを を 30 と 8 L か 6 24 26 を 29 と までとし 23 司 を 欄 削 り、 12 1 22 か 6 を

法 第 兀 条 \mathcal{O} 二第 項及 び 第 百 匹 条 第 項 \mathcal{O} 規 定に ょ る助言及 び 指 7

ま

でとし

7

 \mathcal{O}

28

十

六

条

第二

項

 \mathcal{O}

規

定

に

ょ

る協

力

 \mathcal{O}

要請

2 法 第 兀 条 \mathcal{O} 二第二項 及 び第 百 +-四条第 二項 \mathcal{O} 規定に よる勧告

3 法 第 兀 条 \mathcal{O} 二第三 項 \mathcal{O} 規 定 K ょ る措 置

4 法 第 兀 条 \mathcal{O} 二第 四 項 第百 兀 条 第三 項 及 び 第 百 + 兀 条第三項 \mathcal{O} 規 定に ょ る

表

5 法 兀 条 \mathcal{O} 二第 五. 項 \mathcal{O} 規定 に ょ る 情 報 \mathcal{O} 利 用

6 法 第 几 条 \mathcal{O} 二第六項 \mathcal{O} 規定に ょ る 情 報 提 供 \mathcal{O} 要請

7 法 第 几 条 \mathcal{O} 二第 七 項 \mathcal{O} 規 定に ょ る 報 告 \mathcal{O} 徴 収 並 び に 立 入 検 査 及 び 質 問

 \subset \mathcal{O} 条 例 は 令 和 七 年 _ 月二十 八 日 カュ b 施 行 す る。

令 和 七 年 九 三 十 兀 H 提 出

埼 玉 県 知 事 大 野 元 裕

案 理 由

事 す 7 \mathcal{O} ン b 権 シ \mathcal{O} 限 \exists で に ン あ 属 \mathcal{O} する事 建 替 え 務 等 \mathcal{O} \mathcal{O} 円 __-部 滑 を 松 に 関 伏 す 町 る が 法 処 理 律 することとした \mathcal{O} 部 改 正 に ょ VΥ り \mathcal{O} 新 で、 たに こ の 規定 案を提 され た

知

出

第百 1九号議

例 玉 \mathcal{O} 県 **小立学校** 部 を 改 の学校医、 正 する条例 学校歯科医及び 学校薬剤師 \mathcal{O} 公務災害補 償に 関 する

(昭 和 埼玉 - 県立学校 三十二年 -埼玉県 の学 校医、 **小条例第** 学校歯 五十号) 科 医 \mathcal{O} 及 _ Ţ 部 学 を 校 薬剤 次 \mathcal{O} ように 師 \mathcal{O} 公務災害 改 正 する。 補 償 関 す る 条 例

改め、 第七条の二第二項第一号中 同項第三号中 「八万八千九百 一「十七万 八十円」 七千 九 を「九万二千九百 百 五. + . 円 を <u>-</u> -八万六千 八 八十円」 に改 五. + いめる。 円

 \mathcal{O} 条 例 は、 公 布 \mathcal{O} 目 カン 5 施行 す Ź.

附

則

2 が 9 生じ 改 正 V) た 介 は、 後 \mathcal{O} なお 第 護補償に 七 従 条の二第二項の規定 前 \mathcal{O} 9 V 例 に て 適用し よる。 は、 同 日 令 和 前 12 支給す 七 年 八 ベ 月 き _ 事 日 由 以 が 後 に支給 生 じた介護 すべ 補 き 償に 事 由

和 七 年 九 月 三 十 几 日 出

埼 玉 県 大 元

裕

提 由

令 償 \mathcal{O} 公 立 \mathcal{O} _ 部 学 額 \mathcal{O} 改 校 正 \mathcal{O} 改定をしたい に 学 伴 校 医 VY 県 立 学校 \mathcal{O} で、 一学校 歯 科 \mathcal{O} 医 学校医、 の案を提出す 及 CK 学 校 学校 薬剤 る も 歯 師 科 \mathcal{O} 公務災 \mathcal{O} 医 である。 一及び学校 害補 薬 剤 \mathcal{O} 基 師 準 を定め 対する介護 る政

補